



(住所) 港区虎ノ門3-6-9 (電話) 03-5422-1548
(HPアドレス) <http://tsubasa.minato-ky.ed.jp/>



つばさ教室の役割



新緑の気持ちの良い季節になりました。5月は過ごしやすい季節ではありますが、4月から始まった新年度の疲れが出てくる時期でもあります。疲れたら、少し休んで充電することも大切です。

文部科学省は、児童生徒の問題行動や不登校などの実態を調査した「令和5年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果の概要」を2024年10月31日に公開しています。同調査によると、病気や経済的理

由を除き、心理・社会的な要因などで小中学校に年30日以上登校しない不登校児童生徒数は、過去最多の34万6482人となり、前年度から47,434人(15.9%)増加。増加は11年連続となっており、初めて30万人を超えています(前年度は29万9048人)。今年度つばさ教室に登室してくる児童生徒も例年になく多く、不登校児童生徒の増加を肌で感じております。

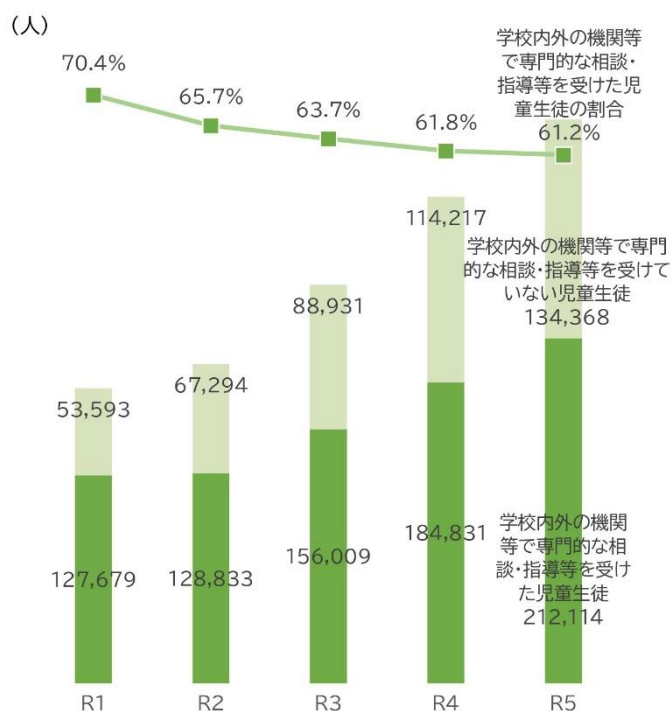
文部科学省の調査結果では「**学校内外の機関等で専門的な相談・指導等を受けた不登校児童生徒の数**」も示されています。右のグラフは相談・指導等を受けた不登校児童生徒数の推移を示したものです。グラフを見ると相談することができた児童生徒の数は増えているものの、全数が増加しているため、割合としては減少していることがわかります。

実際、つばさ教室見学時の面談でも、「(つばさ教室の存在を) 知らなかった」という声をよく聞きます。制度周知が不足していたことを痛感します。

不登校は、本人や家庭だけで解決していくのは大変ですが、公共機関を含めた外部機関とつながることで解決に結び付くことがあります。つばさ教室では児童生徒の居場所・学習場所として機能できるよう努めてまいります。

5月に入るとつばさ教室では、区内公立中学校は全校、区内公立小学校・私立学校は対象児童生徒がいる学校を訪問して連絡会を行っております。連絡会では制度周知とともに不登校児童生徒の情報交換を行っています。これからも、「学校」と「家庭」と「つばさ教室」の3人4脚で連携し、不登校児童生徒の支援を行ってまいります。

不登校児童生徒が学校内外の機関等で専門的な相談・指導等を受けた状況



体育活動を行いました

4月23日（水）に今年度初めての体育活動を実施しました。今年度からアクティビティールームが自由に使えるようになりましたが、Minato School の皆さん方の協力もあり、卓球台を2台出してのびのびと卓球をすることができました。

あまり卓球をしたことがない人もいましたが、ラリーが続いたりいいコースに打つことができたりすると、自然と笑みがこぼれ、楽しい雰囲気の中で活動をしました。ボールに集中して打ち合っていたのであっという間に時間がたち、いい汗をかくことができました。卓球台のネット張りや片付け、終わった後のモップ掛けなどもしっかりと行いました。

今年度は体育活動が不定期に実施される可能性が高いのですが、なるべく体育活動をする機会を増やしていきたいので、積極的に参加してほしいと思っています。



みなと図書館に行ってきました

4月24日（木）自分が読みたい本や他の人へお勧めの本を借りてくるという目的で、芝公園にある港区立みなと図書館に行ってきました。たくさんの本に囲まれるとあれもこれもと読みたくなり、予想していた以上にたくさんの本を借りることができました。借りてきた本は学習ルームの図書ラックにまとめて置いてあります。誰でも読むことができるので興味がある人は手に取ってみてください。

読書は知識を得たり記憶力や集中力を養ったりさまざまな効果が挙げられています。また、読書をすることでいろいろな世界を疑似体験することができるといわれています。たくさんの経験をすることで豊かな人間性を得ることができます。つばさ教室では、4月25日（金）から12:50～13:00に読書活動の時間を設定しました。今年度は読書好きの人が多く日ごろから本を読んでいる姿が見受けられますが、この時間はみんなで読書に集中して、楽しく有意義な時間を持つことを期待しています。

